

## Nikkei Asian Review、アジア・メディア賞特集記事部門で銅賞を受賞

日本経済新聞社の英文媒体「Nikkei Asian Review」(<https://asia.nikkei.com>) は 25 日、世界新聞・ニュース発行者協会 (WAN-IFRA) による 2018 年「アジア・メディア賞」の特集記事部門で銅賞を受賞しました。同賞はアジア・太平洋、中東地域の新聞・雑誌社の優れた報道を表彰するもので、Nikkei Asian Review としては初の受賞となります。

受賞記事「I don't want you」(代表 NAR 編集部・西村博之ニュースエディター)は米トランプ政権の移民政策がアジアからの移民や留学生の生活、米国の経済・社会、さらに多くの移民を送り出しているインドや中国、フィリピンなどの国々にどのような影響を与えるのかを現地取材をもとにまとめた特集です。



「アジア・メディア賞」の表彰式に出席した Nikkei Asian Review の西村博之ニュースエディター (25 日午後、インドネシア・バリ島)



世界新聞・ニュース発行者協会の「アジア・メディア賞」特集記事部門で銅賞を受賞した「Nikkei Asian Review」

週刊のプリント版 2017 年 4 月 3 - 9 日号の巻頭特集として掲載しました。ニューヨークやロサンゼルス、デトロイトなどで将来の不確かさを懸念するアジアからの移民や留学生に取材したほか、多くの外国人エンジニアを抱える IT 企業の動きをシリコンバレーから、家族や今後の渡航を計画している人たちの声をインド、フィリピン、インドネシア、マレーシア、中国、韓国から伝えました。

WAN-IFRA には世界 120 カ国・地域以上の報道機関が参加しています。アジア・メディア賞は今年で 17 回目の表彰となり、58 報道機関から合計 435 点の応募がありました。特集記事部門は 2017 年に英語、中国語などで執筆された新聞や雑誌での報道が審査対象でした。

### Nikkei Asian Review について

Nikkei Asian Review は、成長著しいアジア経済圏の実態を、アジア全域に構築したネットワークを通じて取材し、日経ならではの視点で発信する英文媒体として 2013 年に創刊されました。アジアビジネスに関わる世界の読者に、現地取材に基づいた独自性が高いコンテンツや、経済・政治の専門家・識者による評論を提供しています。パソコンやスマートフォン、タブレットでご購読いただけるほか、週刊のプリント版でもお読みいただくことができます。2015 年から 3 年連続でアジア出版者協会の優秀報道賞を受賞しています。ウェブサイトは 4 月 3 日に刷新しました。詳細は <https://asia.nikkei.com/> でお読みください。

### **日本経済新聞社について**

日本経済新聞社は1876年以来、140年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約1300人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である『日本経済新聞』の発行部数は現在約250万部。2010年3月に創刊した『日本経済新聞 電子版』の有料会員数は現在57万人超、有料・無料登録を合わせた会員数は390万人を超えています。

### **本件に対する問い合わせ**

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)